

# 百草こども村

毎週水曜日 15:30～日没まで  
(雨天中止) いつ来ていつ帰ってもOK!

もぐさ観音地区広場 日野市百草819-44

- ・赤ちゃんからご年配まで どなたでもどうぞ!
- ・ボランティアによる手作りの場です。  
「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、  
その日集まった人と日常的に外遊びをする場のため、  
保険には入っていません。
- ・問い合わせ：mogusakodomomura@gmail.com



## 何して遊ぶ？



チャンバラ剣、スラックライン、ハンモック、  
ベーゴマ、竹とんぼ、ゴム段、大縄、鬼ごっこ、木登りなど  
自分のペースで自由に遊ぼう！ 道具は自由に使えるよ！

## お母さんも！お父さんも！子ども達も！みんなで遊ぼう！

仲間と一緒に笑ったり、泣いたり、  
できたことを喜んだり、けんかしたり・・・

その時感じたことを素直に出し、  
受け入れてもらえる所にしていきたい

何もない所から遊びを考え、創り出す  
何度も失敗しながら、工夫したり、  
挑戦できる場にしたい

## こんなことを目指しています

子ども達が四季を感じながら、  
のびのび元気よく外で遊べるようにしたい！

子ども達の成長を一緒に味わい、  
気楽に声をかけ合える大人の輪を広げていきたい！

百草こども村は、  
「近所の公園」＋「子どもの遊びを大切に思う大人たち(近所の大人、学生、保護者)」  
で創っています。  
こんな輪が百草以外にも広がっていったら嬉しいです。

子どもたちと遊ぶ、  
見守るなど・・・  
ボランティア募集中!!



百草子ども村が主に活動している“もぐさ観音地区広場”は近所の子ども達からは“きんかん公園”とも呼ばれています。それは、きんかんがたくさん実るきんかんの木が植えられているから。きんかんが実る時期は、登校途中にぱくり、放課後は遊び途中にぱくり、甘みのあるなんとも言えない味が大人気？！

百草子ども村マスコットキャラクター



きんくん かんちゃん

つぶやき

なんでこんなことやってるの？  
→ まずはやってみよう！

子どもが小学生になり、放課後遊ぶ人がいない、と、しょんぼりと家にいました。近所に知り合いも少なく、通学路の、いつも誰もいないグラウンドに出逢いを求め、親子で行ってみました。とてもキラキラした目の4年生たちが汗だくになってサッカーをしていて驚きました。放課後は、公園にも道路にも子どもの姿を見ることが少なかったから。その子たちは親子共に快く仲間に入れてくれ、それから行ける時は遊びに行くようになりました。外で遊びたいとき、「約束してなくてもあそこに行けば誰かがいる」という安心感を、子どもたちと一緒に味わい、外遊びをする場を始めるきっかけになりました。（あの時はありがとう！！）



子どもの声がうるさいと言われてしまうこのご時世、何かと忙しい今の子ども達、親に都合を聞いてから初めて約束ができる子ども達、を見ていると、せめて週一回、たった2時間弱の時間ですが、例えば鬼ごっこが盛り上がる人数が集まって、学年関係なく、外で思い切り遊ぶことを、ちょっとでも手伝えたら、居場所の一つになったら、と、続けています。帝京大学の学生さんが遊びに来てくれるようになり、追いかけっこ、相撲、ベーゴマに剣玉など、動ける若い力にとっても助けられています。

もう解散の時間だ、って言っているのに、暗くなると盛り上がってくる鬼ごっこ。また、明日～！ができれば本当は良いのですが。子どもたちの声がそこそこで響く世の中になったらいいな、と願っています。

わたしたちが小学生の頃、放課後に暗くなるまで真剣勝負で「缶けり」やら「ドロケイ」やらで、生の駆け引きをしていた夢中な気持ちを思い出しました。「今の子どもたちはそんな風に思ったことあるかな？」



平日放課後だし、お仕事や子どもの習い事の送迎、家事、ありますよね。そんな中、よかったらふらっとあそびに来てみて下さい！週末なら行けるから企画しよう！の声も有難いです。たまに驚くほど人が多いし、同情するほど少ない日もあります。まあ、それもよし。続けることが目標です。大人も顔見知りが増えて安心して過ごせる街になったらな～と、願っています。

